"職業人教育を通して社会に貢献する"

これが、業界に直結した学校である私たちの使命です。



ごあいさつ

資源の少ない我が国においては、人材こそが「国の宝」であります。新しい時代を自ら切り拓くことのできる、心豊かで、たくましい人づくりが何よりも重要な課題であると考えられます。

そのため、しっかりとした勤労観・職業観を育み、明確な目的意識を持って、職業に取り組むことのできるよう学校の果たす役割はますます大きくなっていると確信しています。

さて、教育へのニーズが、多様化する中、教育への取り組みについても変化が生じてきました。

最近、「キャリア教育」、「職業教育」の重要性がとみにクローズアップされ、文部科学省においても、「学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」の真剣な論議が行われ「キャリア教育とは何か」を問いかけています。

本学園は、"実学"すなわち社会で役立つ技能・技術を身につけるための教育機関であるとともに、『職業人教育を通して、社会に貢献する』という強い信念のもと、1976年(昭和51年)設立以来38年間にわたって一貫して専門学校教育に打ち込んできました。

高齢社会の訪れとともに、ますます関連職への関心も高まり、求められるニーズも高度なものになってきています。

一方、高校生の皆様の進路選択が教育・社会環境の変化に伴い益々多様化する中、高校生や高等学校の先生方から多くの情報を一度に収集できる機会をとのご要望も高く、各方面のご後援ならびにご支援もいただき、『第13回職業体験セミナー』を実施し、国家資格をはじめとする様々な仕事内容や専門性について、養成学校での学習内容や将来像について、それぞれの仕事を直接体験していただくことで、より職業についてご理解をいただけたものと思われます。

ここに当日ご参加いただきました高等学校の進路指導の先生方をはじめ、高校生の皆様や保護者の皆々様に厚く御礼申し上げますとともに『第13回職業体験セミナー』のご報告を申し上げます。



京 良知 大阪医療技術学園専門学校 副学校長元大阪府教育委員会参事·首席指導主事元大阪国公立特別支援教育諸学校長会 会長大阪特別支援教育推進連盟理事長

第13回職業体験セミナーを終えて

今回は参加数が過去最高の2,000名をはるかに超え、約2,500名となり、盛況のうちに終えることが 出来ました。毎回ながら嬉々として体験に取り組む参加者たち、そこには知らなかった業界、職種、資格 が広がっており、彼らの視野を広げるには十分な受け入れ態勢が整っていたと自負しています。

しかし、これが全てではなく、世の中にはもっともっとたくさんの仕事、生きがいとなる舞台があります。私たちのコンセプトに『職業人教育を通して社会貢献』とあるように、仕事に向かう人としてのモチベーション(動機)、感性、心構えをしっかりと身につけていくための第1歩としてこのセミナーが役に立つことを願っています。10年後、20年後に、彼らが生き生きとして仕事に向かえた時、その原点の一つにこのセミナーがあったことを思い出してくれることが、このイベントを企画した私たちにとって何より嬉しい言葉となるのです。私たち教育産業に携わる者が、このセミナーで若い人々に接する私たち自身の姿や態度も、彼らに伝える大切なものであると肝に銘じ、心を込めて接しました。何かが伝わったことを願ってやみません。

このイベントは年1回きりの企画ですが、私たちは高校生の進路意識調査や、作文創作コンテストを通じて、彼らだけでなく、高校現場の先生方、受け入れる私たちが現状を見つめる機会も設けてきました。さらに先生方とは年2回の教育懇談会を通じて課題研究を重ねてきました。諸事情のためこのイベントに参加できなくても、私たちは将来を担っていく若者たちのために、現場の先生方と情報交流、学校支援を進めてまいります。今後ともよろしくお願いします。



須賀 寅充

放送芸術学院専門学校・ 大阪アニメーションスクール専門学校教育顧問 神戸親和女子大学入試課 アドミッションコミュニケーター

元大阪府立箕面東高等学校長 元大阪府立豊中高等学校長 元大阪府高等学校芸術文化連盟会長(現 顧問) 元全国高等学校文化連盟副会長(現 理事) 元全国高等学校体育連盟なぎなた部長